

# 都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所  
社会健康医学研究センター  
西田 淳志

# 都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

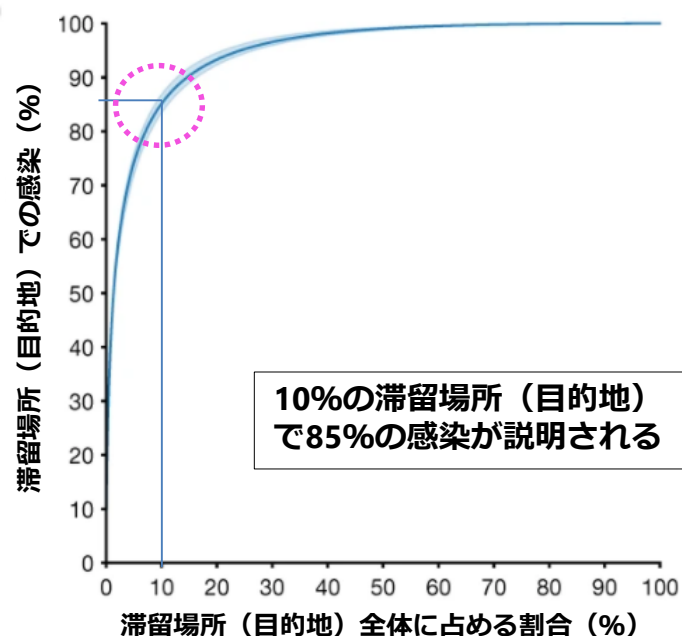
## <要点>

- レジャー目的の夜間滞留人口は、年末年始に一時減少したものの、その後再び増加に転じており、前回・緊急事態宣言中の平均水準と比べ 34% 高い水準を推移している。
- 年明け以降、全年代でハイリスクな深夜帯の滞留人口が増加しており、今後の感染状況への影響が懸念される。
- オミクロン株の感染拡大が急速に進むなかで、深夜までの長時間にわたる会食、マスクをはずしての会話などリスクの高い行動を避ける必要あり。

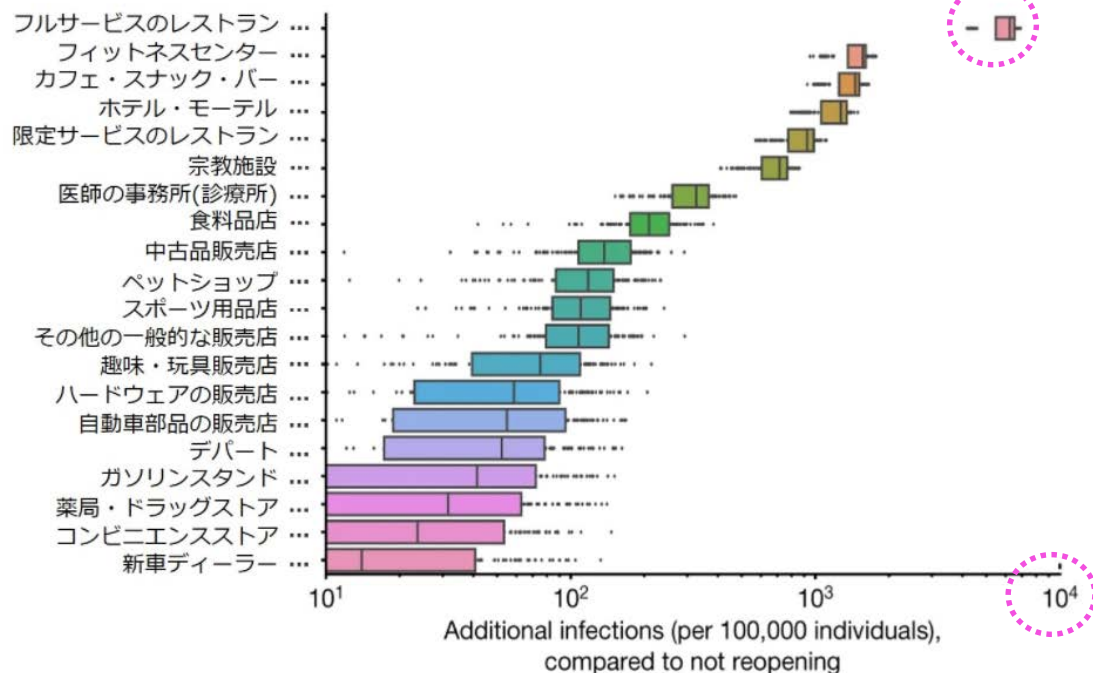
# 繁華街の夜間滞留人口に着目する理由

スマートフォンGPSデータをもとに、シカゴ都市部における様々な施設の人口密度や滞在時間を算出し、それらの施設が再開された場合の感染者数を推計（2020年3月～4月）

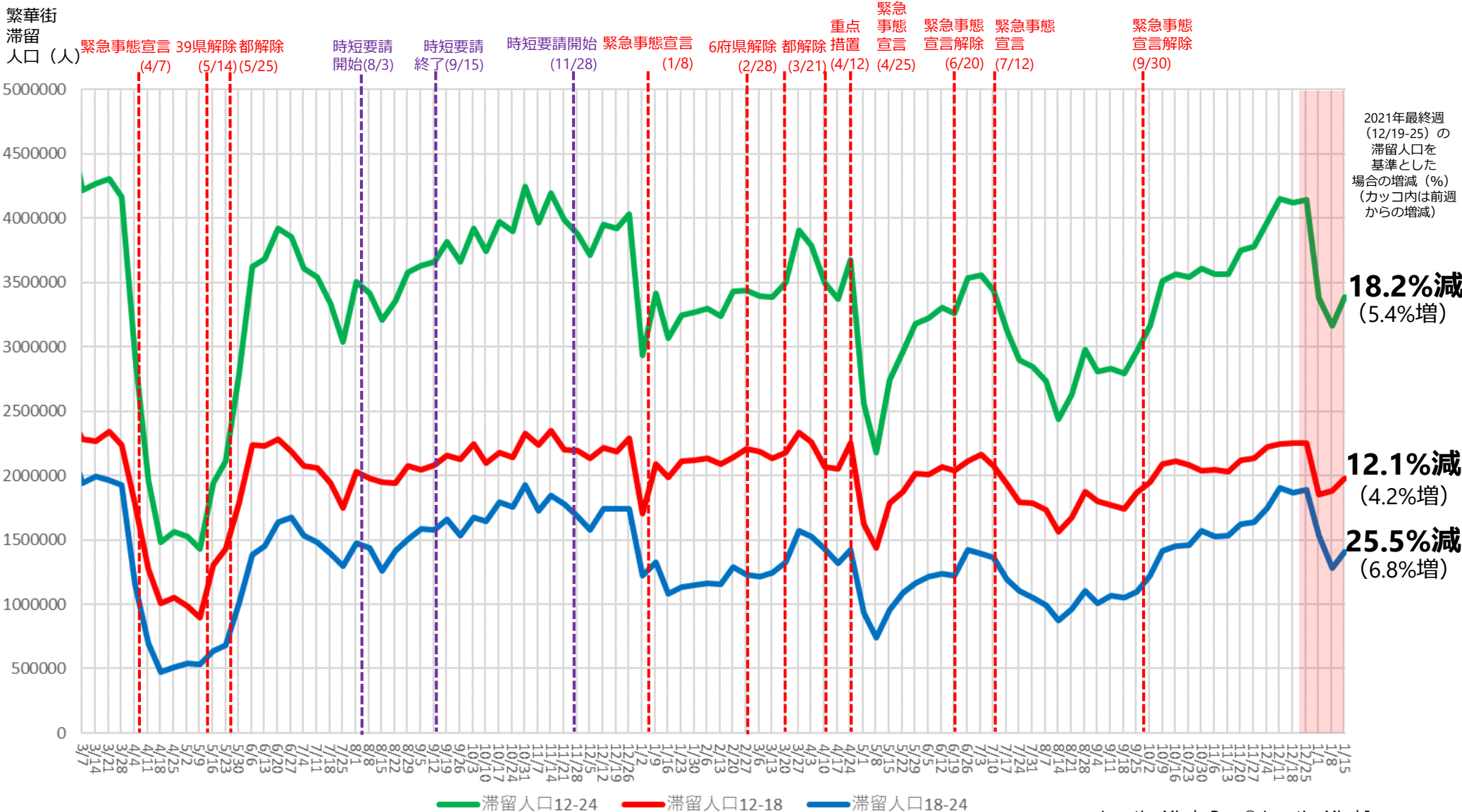
一部の滞留場所で主要な感染が発生する



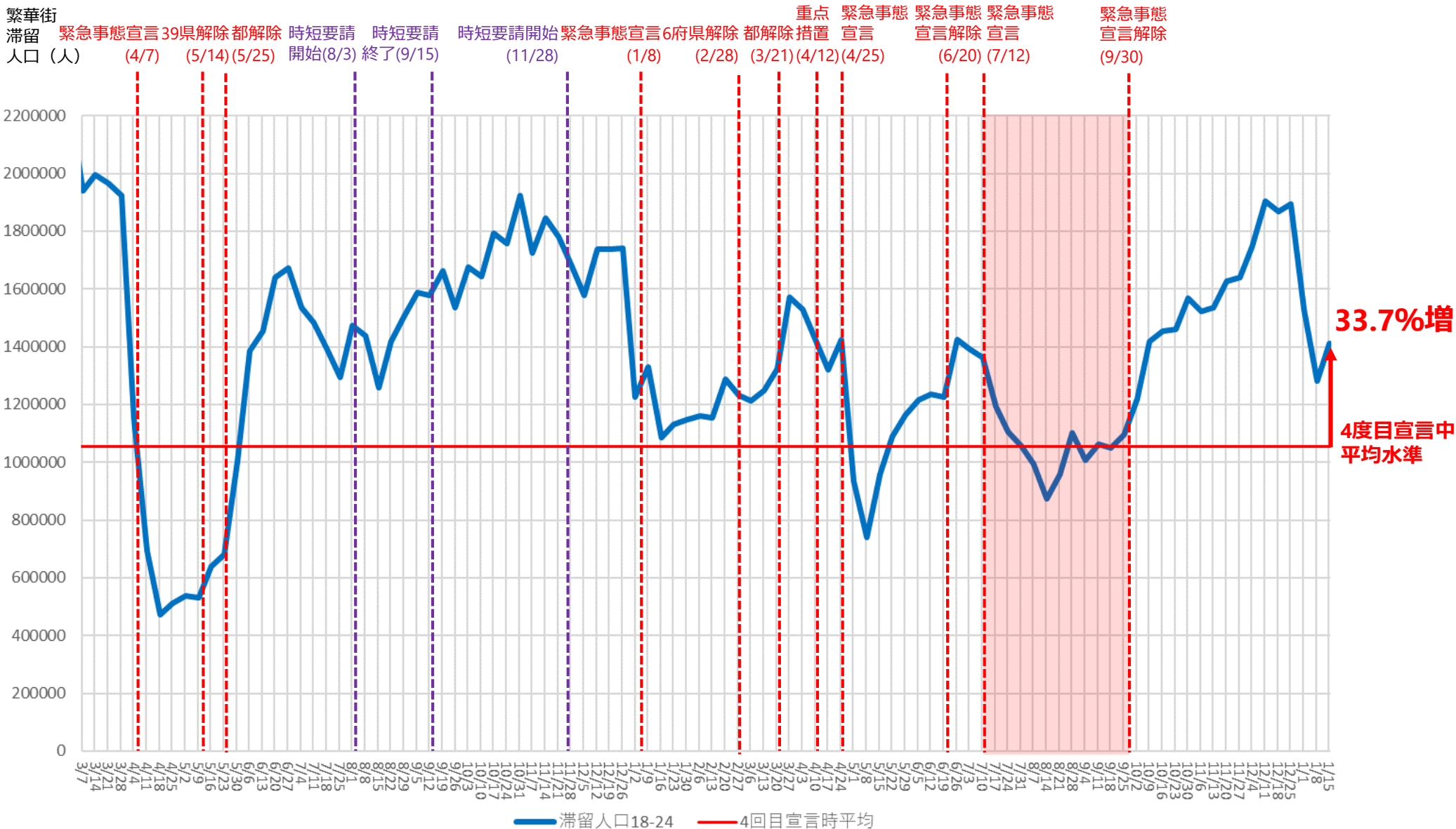
施設再開によって新たに発生する感染者数の推計 (施設種別)



# 時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2022年1月15日）



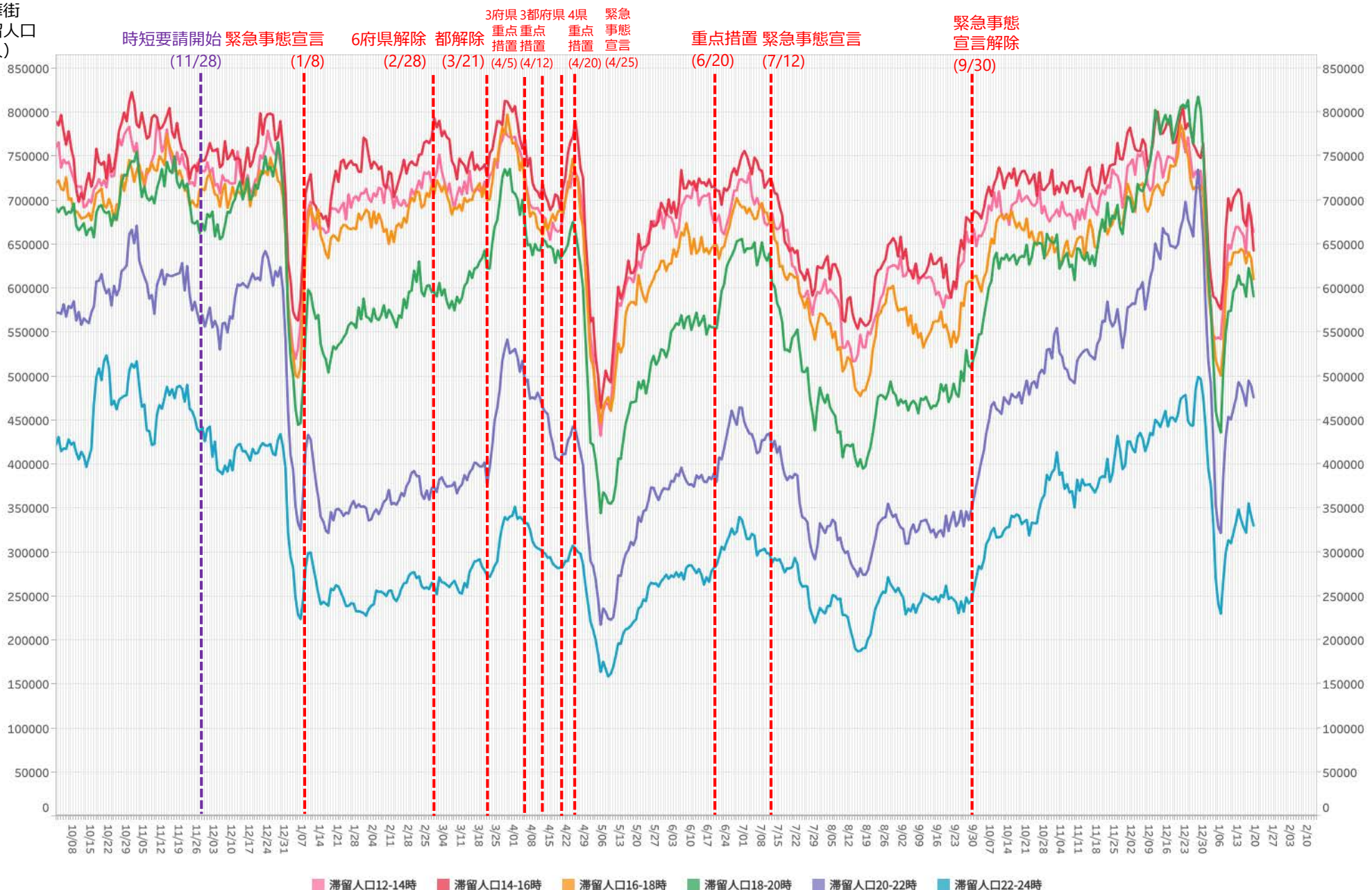
# 前回宣言期間中の夜間滞留人口（18-24時）平均水準との比較 （2020年3月1日～2022年1月15日）



# 時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2022年1月19日）

緊急事態  
7/12-9/30

繁華街  
滞留人口  
(人)

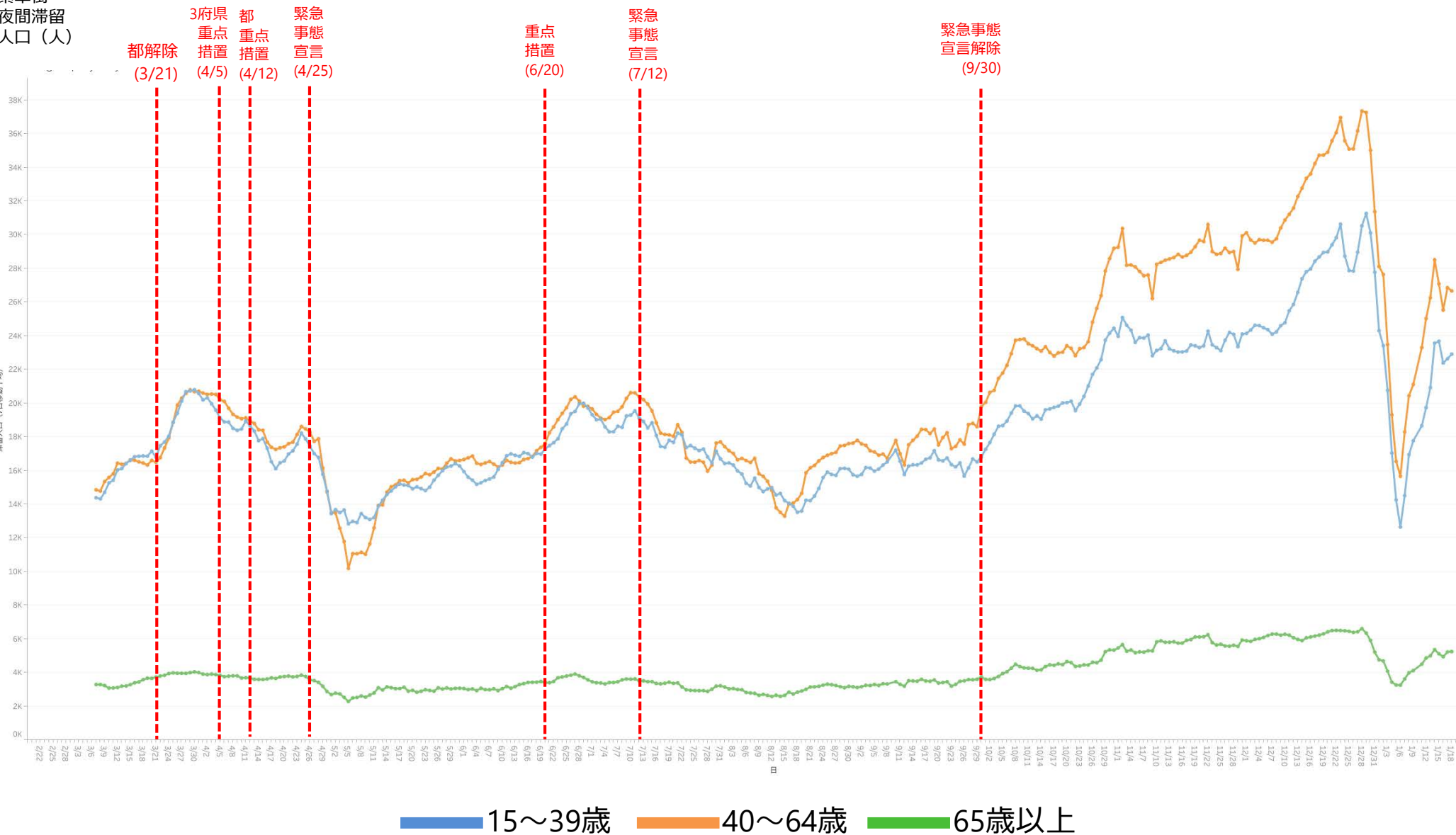


\*対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

# 年齢別夜間滞留人口推移（22-24時・7日間移動平均：2021年3月7日～2022年1月18日）

対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷  
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

繁華街  
夜間滞留  
人口（人）



# 主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2022年1月15日)

緊急事態  
7/12-9/30

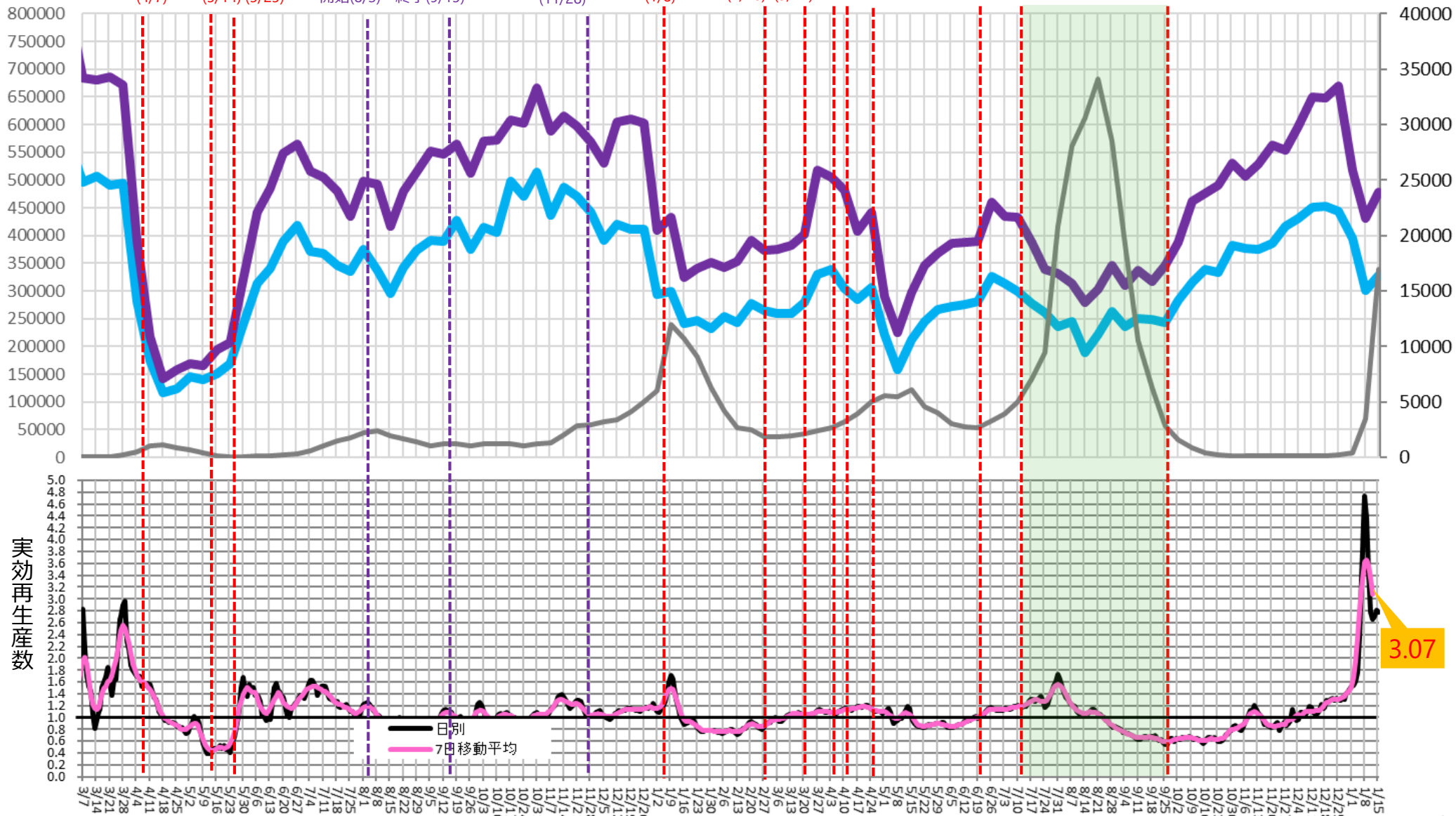
繁華街  
夜間滞留  
人口(人)

対象繁華街: 上野・銀座・六本木・渋谷  
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

滞留人口22-24時 滞留人口20-22時 新規感染者数(報告日)

緊急事態宣言 (4/7) 39県解除 (5/14) 都解除 (5/25) 時短要請 開始(8/3) 時短要請 終了(9/15) 時短要請開始 (11/28) 緊急事態宣言 (1/8) 6府県解除 (2/28) 都解除 (3/21) 3府県 重点 措置 (4/5) 重点 措置 (4/12) 緊急 事態 宣言 (4/25) 重点 措置 (6/20) 緊急 事態 宣言 (7/12) 緊急事態 宣言解除 (9/30)

週あたり  
感染者数  
(人)



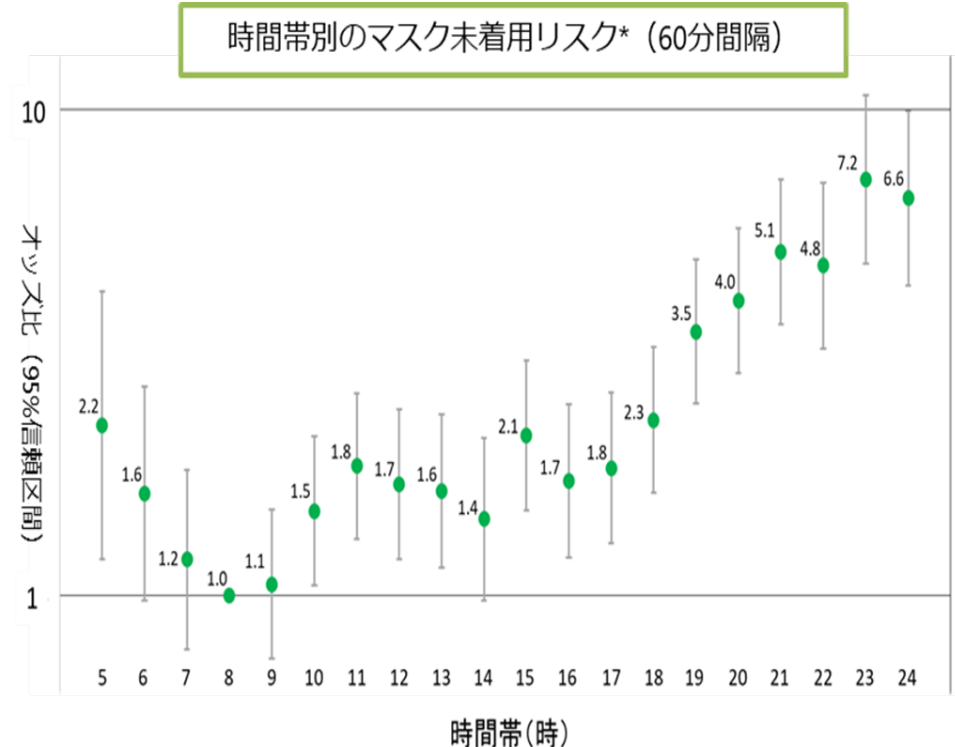
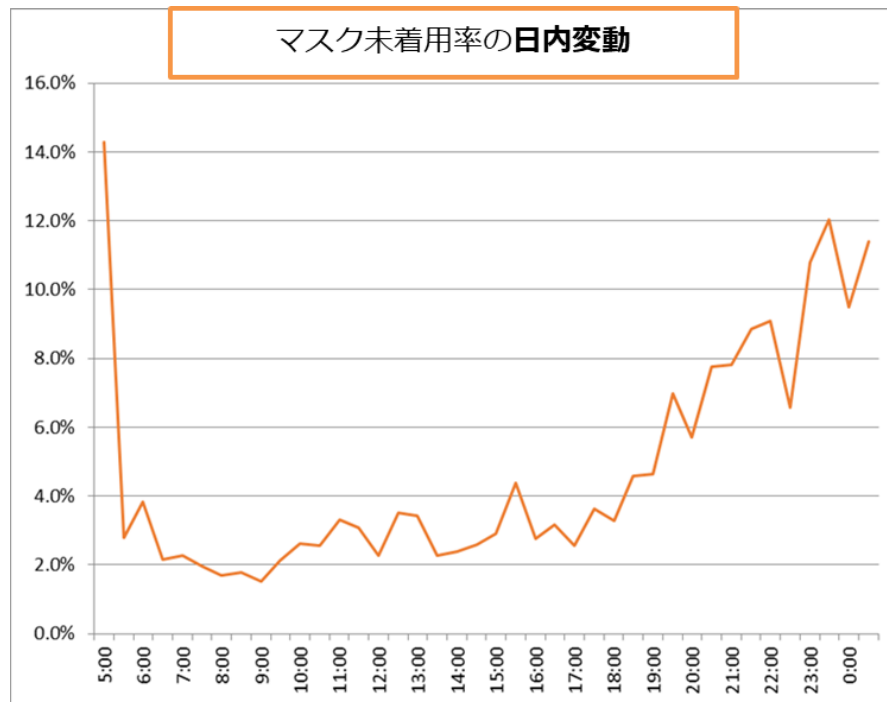


# 繁華街最寄駅のマスク未着用率調査：六本木駅におけるマスク探知システム実証実験

東京都医学総合研究所・社会健康医学研究センター

【目的】感染拡大の一因となるコンプライアンスの低下、特に繁華街周辺を移動する人々のマスク着用の日内変動を把握する

【方法】マスク着用・未着用を検知するシステムを駅構内に試験的に導入。2021年3月18日～3月29日の12日間（288時間）、定点観察（自動）によりマスク未着用率の日内変動に関するデータを収集（N=35,058）。



■ 18時以降、終電時間が近づくにつれてマスクの未着用率は顕著に増加。朝8時台の未着用率が1.7%であるのに対し、20時台は6.7%、23時台では11.3%まで増加する。夜9時以降の未着用リスクは、朝8時台に比べ約5倍以上。

# ハイリスクな滞留人口を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**主要繁華街に遊興目的で**

**移動・滞留したデータを抽出 ※**

- **ハイリスクな時間帯の滞留人口量を**

**1時間単位で推定(500mメッシュ単位)**

- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**

- **夜間滞留人口データとその後の**

**新規感染者数、実効再生産数との関連が報告されている ※※**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021